

三重県で作られている品種



■みえのゆめ BSL(品種登録出願中)

「みえのゆめ」は、収穫量が多く、良品質、両食味を兼ね備え、いもち病にも強い中生品種として平成12年度に育成されました。これまでも長年生産されてきましたが、ごま葉枯病に罹病性があることが課題となっていたことから、新たに強い抵抗性を有する「みえのゆめBSL」を育成し令和2年11月に品種登録出願を行いました。

令和4年産からは全面「みえのゆめ」から「みえのゆめBSL」に切替る予定です。

■キヌヒカリ

炊きあがりのご飯の色が白く、絹のように輝くことから名づけられた品種です。

全国的に栽培されている品種ですが、現在は近畿地方が主な産地となっています。三重県では「コシヒカリ」に次いで2番目の作付けがある品種です。

■あきたこまち

コシヒカリに負けない食味を持つと言われ、コシヒカリよりも早生の品種です。

三重県内でも特に早場米の栽培がおこなわれている平坦部での生産が中心です。

